

サンシビック尼崎 阪神尼崎駅より南西へ徒歩5分

主催 | てらまちプロジェクト協議会 (尼崎信用金庫+阪神電気鉄道株式会社)





協力 | 尼崎市立地域研究史料館、尼崎市中央地域振興センター、尼崎市社会福祉協議会中央支部、 開明社会福祉連絡協議会、公益財団法人尼崎市スポーツ振興事業団、みんなの尼崎大学

後援 | 公益財団法人尼崎市文化振興財団 企画運営 | 株式会社ライフデザイン阪急阪神



表面の答えは、例えば思い出のひとつとして

1960年代頃のてらまちで「名産 | として人気だった練り物があります。

お土産としてまたはおやつとして、アツアツをほおばった経験のある方も多いとか。

あの頃食べたものや思い出の風景・遊びなどの

暮らしの思い出を手がかりに、てらまちの魅力をひも解きます。



あの頃の暮らしからひも解く、てらまち

日時 -----12019年11月21日(木)/212月10日(火)19:00-21:00(全2回・連続講座)

会場 ------ サンシビック尼崎(尼崎市西御園町93-2)

参加費 ——— 無料

対象 ――――― 寺町・開明町周辺にお住まいの方々、歴史文化やリサーチ、まちづくりに興味のある方

歴史アドバイザー 一 河野 未央(尼崎市立地域研究史料館 職員)

参加方法 ——— 当日参加可能·事前申込優先

定員 ——— 20名程度

申込方法 ――― 下記QRコード、またはFacebook (@teramachi.pj) からお申込みください。



※会場内では写真・映像撮影を行い、撮影した データは広報等で使用することがございます。 ご了承の上、ご参加ください。

1回目

暮らしの思い出のひも解き方

11月21日(木) 19:00-21:00

歴史アドバイザーから寺町かいわいの歴史や文化を学びながら、 あの頃人気だったお店・懐かしい食べ物など、暮らしの思い出を参考 に「らしい暮らし」とはどのようなものかを考えます。また、歴史文化の ひも解き方を知り、リサーチのノウハウを学びます。

2回目

てらまち「らしい暮らし」を今に活かす **12**月**10**日(火) 19:00-21:00

前回学んだリサーチ手法を活かして寺町かいわいの「らしい暮らし」 を見つけ皆さんで共有します。それらを踏まえ、寺町かいわいを訪れ る人に伝えたい地域の魅力とはどのようなものかを一緒に考えます。

これからの 今回皆さんで調査・分析をした内容をもとに、寺町かいわいの「らしい暮らし」を **てらまちプロジェクト** 追体験できる企画を考える、連続ワークショップを実施予定です。(2020年度予定)



会場 サンシビック尼崎(尼崎市西御園町93-2)

阪神尼崎駅より南西へ徒歩5分 ※会場には駐車場はございませんので、公共交通機関でお越しください。



河野 未央 歴史アドバイザー

尼崎市立地域研究史料館 職員

1995年神戸大学文学部に入学。神戸大学大学院文化学研究科修了後、同大大学院人文学研究科地域連携センター研究員、尼崎市立地域研究史料館の嘱託職員、関西圏の大学の非常勤講師、近大姫路大学(現・姫路大学)の助教などを勤め、2014年4月より尼崎市立地域研究史料館の正規職員となる。



これからの尼崎も、「住み続けたくなる」「訪れたくなる」「移り住みたくなる」「働きたくなる」まちになるように。 てらまちプロジェクトは、2017年4月にスタートした、阪神尼崎駅南側の寺町・開明町かいわいを中心に、市民・地元のみなさまと、尼崎信用金庫と、阪神電車が一緒に手をとりあって進めていくプロジェクトです。

お問い合わせ

てらまちプロジェクト事務局(株式会社ライフデザイン阪急阪神) TEL 06-6373-5394

詳細や最新情報は、てらまちプロジェクトFacebookページ(@teramachi.pj)をご覧ください。